

## 事業計画書

事業名	世代・領域を超えた交流を生む居場所づくり事業
団体名	ちいきのひろば

### 1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

さまざまな要因があって引きこもっている、困ったことがあっても相談できる人がいないなどの社会的孤立の中にある倉敷市民が前向きな気持ちで日常生活を送る事ができる。地域住民との生活・お互いが無理のない範囲でできる助け合いの中で諸困難が軽減・解決できるような、誰一人孤立させない地域作りを行っていく。

### 2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

倉敷市における独居高齢者数は1.4万人を超えている(厚労省調べ)。日本において家族以外の人と交流のない人の割合が15%を超えていることから(OECD調べ)学生や壮年、中年期、親子等様々な階層にあって地域とのコミュニティーを持つ事が出来ずに孤立している人々は相当数いると考えられる。

当事業の事務所を置く水江地域周辺には小学校やこども園があって毎日公園を利用している親子も数多くいるが、公園に張り紙がされたこともあり、気持ちよく利用できる環境整備が必要。ひきこもり当事者の方もいらっしゃる。

### 3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記1と2の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

近隣に住んでいる人の顔が分からない、もしくは顔が分かっても話した事が少なく、困った時に相談できる関係が形成できていない。

買い出しなど必要な時には外出することもあるが、人との交流そのものを目的にして出歩くことがあまりない。

町内会など地域の組織・行事が関係性を作る役割を果たしていたが、開催されなくなった。困りごとの相談窓口や支援は、高齢者・障害・児童などの諸分野で分けられていることが多く、自分の住む地域に密着した相談場所が少ない。

人的・物的資源はあるのに、困りごとを抱えた人を受け入れる場所・イベント等が少ない。

#### 4 計画の概要と対象者

上記3で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150字以内で簡潔にまとめてください(計画の詳細は下記5に記入してください)。

困った時にお互いで助け合える小規模の地域ネットワークを形成するために、週1回程度スペースを開放してコーヒーや駄菓子などの販売を行い、倉敷市民(特に水江地域周辺で生活する人々)がふらっと立ち寄れる居場所づくり活動を行う。

#### 5 計画の詳細

##### (1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

##### ・事務所を活用した地域住民同士の交流場所の提供

2021年4月~2022年3月の間、週1回程度、当事業の事務所周辺スペースを利用して「たけちゃんコーヒー」、駄菓子・焼き菓子の出店を行う。同時にみずえ地域相談支援事業所の事務所を開放し、倉敷市民の「憩いの場、ふらっと立ち寄れる居場所」として自由に利用してもらう。主に当事業所の利用者や周辺に暮らす住民を対象とする。幅広い年齢層、様々な障害や特性がある人がその日その日で集い、世間話などをしながら時間を過ごすことで、社会的孤立など困難を抱えている人を含む地域住民同士で親交を深めるのがねらいである。

意欲のある利用者には、上記の出店や子どもの利用が盛んな水江遊園周辺の清掃など、憩いの場運営に携わってもらったり、交流時間において自分の趣味・作品を発表しあえる場を作ったりする中で、一人一人が安心して過ごし、「人と交流することの楽しさ」を実感してもらう。

直近で困っていることがなくても自由に利用できる場とするが、みずえ地域相談支援事業所の相談支援専門員や相談支援員が常駐し、社会的困難を抱えている方が利用できる相談場所としても整備することで、社会的困難を抱える方が安心して過ごせる居場所を提供していく。

##### (2) スケジュール(準備~実施~報告)

4月~3月 週1回程度	チラシ配り等の広報活動、近隣住民への声掛け 事務所開放 コーヒー、駄菓子などの販売
3月	報告

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験
澤口 建樹	
阿部 磨呂	
中野 葉月	
榊原 久美子	会社役員、中洲小学校評議委員
高橋 朋彦	
浅野 善洋	主任児童委員
大岸 太一	作業療法士、川崎医療福祉大学リハビリテーション学科、作業療法学部助教授
10名を超える場合は、外 名としてください	外 ( )名

( 様式第 1 及び第 2 の別紙 2 )

## 収支予算書

### 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担		150,000	コーヒー売上 300 円 × 10 杯 × 50 週
会費からの繰入			
その他			
市補助金		150,000	
収入合計		300,000	( 支出合計と一致 )

### 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費(会員) <sup>1</sup>		0	
交通費(会員) <sup>1</sup>		0	
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	コーヒー出店者謝礼	150,000	1 回 3000 円 × 50 週
旅費交通費(講師等)			
消耗品費	コーヒー用品 コピー用紙, 事務用品, インク代	41,000 9,000	豆、フィルター、紙コップ、蓋、お手拭き 各 500 杯分 A4 コピー用紙 5000 枚、列整備用ひも、ガムテープ、工具等
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料	JA イベント保険	12,000	1 回 24 円 × 10 人 × 50 回
使用料・賃借料	水江集会所使用料	24,000	月 1 回 × 12 か月
外注費・委託費	出店者送迎委託	50,000	1 回 1000 円 × 50 回
対象経費計		286,000	
食糧費	飲料、菓子	14,000	
人件費			
その他			
対象外経費計		14,000	
支出合計		300,000	( 収入合計と一致 )

1: 会員に支払う人件費交通費は、協働事業部門のみ計上でき、その合算額は対象経費計の 1 割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

( 様式第 1 及び第 2 の別紙 3 )

## 組織運営体制

団体名	ちいきのひろば
ふりがな	ちいきのひろば
法人格 ( をつけて ください )	任意団体
CANPAN 登録の有無	無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト  
以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。  
新規チャレンジコースに申し込む団体は, 情報のある項目のみ記入してください。

### 1 組織体制

任意団体活動開始年月	2020 年 12 月 ( 西暦 )	
法人格取得年月	年 月 ( 西暦 )	
事務所 所在地	倉敷市水江 1 5 8 6 ・ 7 7	
代 表 者	職・氏名	澤口 建樹
	電話番号	0 8 6 ・ 4 6 0 ・ 3 1 0 8 ( 連絡可能時間帯 : ~ : )
ウェブサイト URL	http://	
活動地域	倉敷市全域	
役員数・職員数計	4 名 ( 役員 名, 職員 名 )	
設立年月	2020 年 12 月	
活動分野 ( 該当に をする ) ( 複数回答可 )	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 子ども・青少年 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい者・高齢者・在日外国人・留学生 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉 保健・医療・            教育・学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・            環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・            男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・            就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・            助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への改策提言・            学術研究・その他 ( )         </p>	
活動目的 ( 規約等に定めるもの )	水江地域で地域交流を図り、誰一人として孤立しない地域コミュニティを目指して行く。	

( 様式第 1 及び第 2 の別紙 3 )

設立以来の主な活動実績	2020 年 11 月から、「たけちゃんコーヒー」と他事業所の協力を得て駄菓子・焼き菓子販売を開始。 子どものお迎え後近隣公園で過ごす親子・地域住民を中心に「近くに住む人・いる人の顔がわかる」「困ったときに助け合える」地域づくりを目指した取り組みを行っている。
現在特に力を入れていること	地域住民をはじめとした地域の物的・人的資源とのつながり形成に注力している。

## 2 団体概要と財政状況

団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーヒー店出店</li> <li>・ 他事業所と連携した駄菓子・焼き菓子等の販売</li> <li>・ 居場所づくり</li> <li>・ 相談場所づくり</li> </ul>
今後の活動の方向性	週に 1 回程度のコーヒーの出店と事務所開放を継続し、居場所としての役割を定着させる。 地域住民、事業所、行政などと連携し、多様で複雑なニーズに対応できる柔軟なコミュニティを作る。
最新決算総額 (該当に をする)	100 万円未満・100～500 万円未満・500～1,000 万円未満・1,000～5,000 万円未満・5,000～1 億円未満・1～5 億円未満・5 億円以上
定期刊行物	なし

## 3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	なし
他 NPO・市民活動団体との協働実績	なし
企業・団体との協働実績	駄菓子販売(事業所名:就労継続支援 B 型事業所クッキーハウス) 焼き菓子販売(事業所名:就労継続支援 B 型事業所マカロン)
行政との協働実績(委託事業など)	なし